

I3C 判断・共有シート

DESIGN-R® 2020 | 炎症 / 感染 (I)

I3Cは「24-48時間様子を見る」ためのラベルではありません。観察所見を記録し、I3・I9を見落とさず、院内手順に沿って共有・対応につなげます。

1. 基本情報

氏名 / ID		評価日時	
褥瘡部位		評価者	

2. I3Cを疑う創面所見

単独所見だけで決めず、複数の所見を組み合わせで判断します。

観察項目	状態	メモ / 具体的所見
創面にぬめりがある	☐ あり ☐ なし ☐ 未	
滲出液が多い	☐ あり ☐ なし ☐ 未	
肉芽がある場合：浮腫性・脆弱である	☐ あり ☐ なし ☐ 未	
経過情報（判定所見と分けて記録）	任意	例：治癒停滞、前回からの滲出液量の変化など

3. I3・I9を見落とさない確認

悪臭など1つの所見だけで機械的に決めず、局所炎症・創面・全身所見を合わせて確認します。

確認項目	状態	メモ / 具体的所見
創周囲の発赤・腫脹・熱感・疼痛	☐ あり ☐ なし ☐ 未	
膿	☐ あり ☐ なし ☐ 未	
悪臭	☐ あり ☐ なし ☐ 未	
発熱・全身状態への影響	☐ あり ☐ なし ☐ 未	
その他、早めの相談が必要な所見	☐ あり ☐ なし ☐ 未	

4. 判定と根拠

判定	☐ i0 ☐ i1 ☐ I3C ☐ I3 ☐ I9 ☐ 保留	I3CとI3はいずれも3点です。点数だけでなく記号と判定根拠を残します。
判定根拠（観察した事実）		

5. 多職種共有・次回評価

共有先	☐ 医師 ☐ 看護師 ☐ WOC / 創傷担当 ☐ その他 ()
共有した内容	
今回の対応・確認事項	
力学的要因（必要時）：圧迫 / ずれ / 体位 / 支持面 / 座位時間 / 移乗条件	
次回評価日時	
次回確認する所見・条件	

I3Cを認識した場合は、感染褥瘡に準じた対応・治療につなげます。再評価時期は一律24-48時間とせず、創の状態、実施した治療・ケア、院内手順に応じて設定してください。

出典：一般社団法人 日本褥瘡学会：改定DESIGN-R®2020 コンセンサス・ドキュメント・2020 .

https://www.jspu.org/medical/books/docs/design-r2020_doc.pdf